

膏血を絞りとて數萬の富を蓄へたるが、大正三年一時鑛山を退き、自ら鑛山事業の經營に指を染めたるも、其事業全く失敗に歸したる結果、再び來山し、漫りに往時の地位を追慕せるものゝ如く、偶々労働問題の世に暮しきに乗じ、本年七月、大日本鑛山労働同盟會なるものゝ組織を計畫するに至れり。彼は天資頗る伶俐にして、中學三年の課程を修め、殊に文章演説に長せるのみならず、相當の見識と性格とを具有せるを以て、其の所説能く人を動かすに足れり。されば彼が本年七月下旬以來各所に演説會を開催して、同盟會の趣旨を宣傳するに努むるや、忽にして多數の賛成者を得たるを以て、九月一日其の發會式を舉行し、二十八箇條の希望條件を鑛山事務所に提出し、其の一部の鑛山側の容認する所となれり。

爾來同盟會は著々足尾鑛山に於て、其の地歩を固め、最近(紛擾前)同鑛山鑛夫の約半數は、同會に屬すとさえ稱せらるゝに至れり。(總鑛夫一萬人同盟會員四千人)

二、飯場夫制度の現況

足尾鑛山に於ては、近時飯場制度の改善に意を盡し、賃金は飯場頭の手を経ずして直接鑛夫に支拂ふの方法を探り、飯場所屬單身鑛夫の寄宿に付ては自炊制度の普及を計る等、著々其の改善に努め來りしも、飯場頭役なるものは傳統的地位と勢力とを有し、往々にして其の人を得ざるのみならず

多くは傲慢專横の風あり、所屬鑛夫との間圓満融和を缺けるを以て、鑛夫の多數は必ずしも飯場制度其のものゝ撤廢を希望するに非ずと雖も、飯場頭役に適當なる人を得んこと、其の衷心の希望なるが如し。

抑も同鑛山に於ては現在六十二の飯場を存し、各一名の頭役を戴けり。而して採鑛の作業に従事する鑛夫は必ず何れかの頭役を経て雇傭せられ、何れかの飯場に所屬するを要すと定めらる。

飯場は狹義(物的)に於ては單身者の寄宿舎にして、廣義(人的)に於ては多數の單身者、有配者を綜合せる一の團體なり。随つて頭役は一面自營寄宿舎の主人なると共に、他面一定多數の鑛夫團體の監督者たるの地位を有せり。(現今自炊寄宿制度の普及につれ漸次第一義の性質を失ふに至れり)頭役は其の配下に四五十人乃至二百四五十人、平均約百人の鑛夫を有し、此等鑛夫の雇傭の仲介保證、出稼の作業獎勵、監督を主たる任務と爲すものにして、之に對し鑛山側より月々四十圓の定額手當の外、紹介手當並に鑛夫一人一日の入坑に付金五錢の入坑手當を受く。従つて其の月收は最高三百圓、最低九十六圓に達し、平均約百六十圓に當れり。毎月十五日以上出稼入坑すべき定なれども、多くは自ら安逸を事とし鑛夫の入坑を慫慂すること苛酷に失するを以て、其の反感を買ふこと多しと云ふ。